

In the bright future...

明るい未来に!!!

岩田 亜美

平成30年8月20日、

文化庁、公益社団法人全日本郷土芸能協会が主催した「ぼくたち、わたしたちのニッポンの祭り2018」を観てきました。その中の島根県益田市高津神楽中が披露した「石見神楽」と、長崎県五島市五島市立崎山中学校が披露した「チャンコロ」と熊本県阿蘇市坂梨子おもいが披露した「古閑の虎舞」の3つの伝統芸能を観ました。その後演舞された各団体の皆様にお話を伺いました。

石見神楽

「石見神楽」は島根県益田市の伝統芸能です。これは歌舞伎に似ているところがありません。台詞があり、たりするところがあり、小学生なのにまぢかえないでスラスラ言っていてすごく感動しました。石見神楽を披露していた子に石見神楽に会ったとき、かけを聞いたところ「おじさんかや。ていた。」といって「目標はその人だ」といって、はいました。他の子たちに見ている人に何を伝えたいか聞くと「たのしんで披露してるから、

みてる人も楽しんでもらいたい」といって、出来ました。身近に伝統芸能があると目標となる人が家族などにもなるのだなと思いました。



チャンコロ

「チャンコロ」は長崎県五島市の伝統芸能です。これは私が家族旅行で長崎にいった時に観たことがありました。その時は何も考えないで観ていました。でも、今回はこちら視点から観ることかできて色々な気になることがありま

した。「チャンコロ」を披露するうえで大変なところを聞いたたり「かねの音とみんなと合わせるところが大変だ」といってチャンコロの中心はかねの音なのでと思いました。そしてみている人に何を伝えたいか、たか聞くと「これをみていろいろな人に長崎に来てもらいたいと思う」といってました。男子中学生が多くて見て長崎にもう一回いきたいなと思いました。

古閑の虎舞

「古閑の虎舞」は熊本県阿蘇市の伝統芸能です。これは4つの演目でわかれています。1年生から6年生の方たちで披露していました。その中の

部長さんに大変だ。たことを聞くと「みんながんばってくれたから大変なことか、た」といってみんなの仲の良さがわかりました。みんなに虎舞の好きなポーズを聞くとみんなが虎のポーズをしてくれました。27人いて男の子が多か、たかみんな仲がよくて取材の話をしんけんに関わってくれてうれしか、たです。

編集後記

今回各団体共通で質問したのが「みてる人に何を伝えたいか」を聞いた。みんなが「楽しんでるからみてる人も楽しんでほしい」といっている方もいて「チャンコロはちかうけれど舞台に立つ人たちが何を伝えたいかはわかりなかつたです。」